

公衆衛生学

《担当者名》准教授 / 寺崎 将

【概要】

"B 社会と薬学"、"C 基礎薬学"および"D 医療薬学"で学修した様々な疾病、健康被害および感染症に関する基礎知識をもとに、公衆衛生学の視点から、環境要因によって起こる疾病や健康被害と予防策・防止策について学修する。

【学修目標】

人の健康の維持・増進のために、公衆衛生上の課題の疫学的解析の手法と、これに基づいて解決策を見出すプロセスについて説明する。

社会や集団において環境要因によって起こる様々な疾病や健康被害について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・防止することの必要性を説明する。

環境要因によって起こる疾病や健康被害について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。

環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。

人の健康の維持・増進のために、人の健康を脅かす感染症について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・まん延防止することの必要性を説明する。

発生した感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。

感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	疫学 1. 疫学の役割 2. 疫学の三要件 3. 疫学の手順 4. 疫学の種類 教科書：p2～17	人の健康の維持・増進のために、公衆衛生上の課題の疫学的解析の手法と、これに基づいて解決策を見出すプロセスについて説明する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 1)	寺崎 将
2	健康と疾病 1. 健康と疾病の概念と変遷 2. 疾病予防の段階 3. わが国の健康増進政策 教科書：p18～32	社会や集団において環境要因によって起こる様々な疾病や健康被害について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・防止することの必要性を説明する。 環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 2), 4)	寺崎 将
3	保健統計 1. 人口統計の意義 2. 人口統計と疾病統計 3. わが国における死因別死亡率の変遷 教科書：p33～67	保健統計について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・防止することの必要性を説明する。 環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 2), 4)	寺崎 将
4	生活習慣病 1. 生活習慣病の種類とその予防 2. 食生活や喫煙などの生活習慣と疾病とのかわり 教科書：p68～83	生活習慣病について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。 生活習慣病に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 3), 4)	寺崎 将
5	母子保健 1. 母子保健施策の概要	母子保健について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもと	寺崎 将

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	2. 新生児マススクリーニングの意義と代表的な検査項目 3. 母子感染 教科書：p84～96	に、実効性のある予防策や防止策を立案する。 先天性代謝異常症や母子感染症に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 3), 4)	
6	学校保健、高齢者保健 教科書：p97～104	学校保健や高齢者保健について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。 環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 3), 4)	寺崎 将
7	産業保健 1. 産業保健の沿革と関連法規 2. 労働衛生管理 3. 労働災害と職業性疾病 教科書：p105～117	産業保健について、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策や防止策を立案する。 環境要因によって起こる疾病や健康被害に対する予防策や防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-1 3), 4)	寺崎 将
8	感染症 感染症の病原体と感染経路 (a) 感染症とは (b) 日和見感染症 (c) 院内感染症 教科書：p120～125	人の健康の維持・増進のために、人の健康を脅かす感染症について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・まん延防止することの必要性を説明する。 感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 1), 3)	寺崎 将
9	感染症 感染症の病原体と感染経路 (a) 新興感染症 (b) 再興感染症 (c) 性感染症 教科書：p125～127	人の健康の維持・増進のために、人の健康を脅かす感染症について、関連する情報の収集・解析と評価に基づいて適切に予防・まん延防止することの必要性を説明する。 感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 1), 3)	寺崎 将
10) 12	感染症 1. 感染症に対する基本的な予防法 2. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 教科書：p128～151	発生した感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。 感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 2), 3)	寺崎 将
13	感染症 発生した感染症に対する予防策・まん延防止策 教科書：p152～155	発生した感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。 感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 2), 3)	寺崎 将

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	予防接種 教科書：p155～160	予防接種対象の感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。 予防接種対象の感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 2), 3)	寺崎 将
15	薬剤師によるワクチン接種のコーディネート 教科書：p160～164	予防接種対象の感染症について、感染状況や保健・医療体制の把握、社会的な影響や国際的な動向の解析と関連する規制・制度や関連法規の理解のもとに、実効性のある予防策やまん延防止策を立案する。 予防接種対象の感染症に対する予防策やまん延防止策の効果を検証・評価する。 《関連するモデルコアカリキュラムの到達目標》 E-1-2 2), 3)	寺崎 将

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

「衛生薬学 - 基礎・臨床・予防」（改訂第5版）今井浩孝、小椋康光（南江堂）
講義配布プリント

【参考書】

「衛生薬学」 新スタンダード薬学シリーズ 第5巻 新スタ薬シリーズ編集委員会編（東京化学同人）

【学修の準備】

1～15回の授業全てにおいて、当日の授業内容を予習し、あらかじめ疑問点等を把握しておくこと（80分）。
授業の最後に授業内容に関わる小テスト（評価対象外）を実施するので、積極的な授業参加をすること。
教科書、講義配布プリント、参考書を活用した復習を行い、授業内容の理解を深めること（80分）。

【関連するモデル・コア・カリキュラム】

E1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生
(1) 環境要因によって起こる疾病の予防と健康被害の防止
(2) 人の健康を脅かす感染症の予防とまん延防止

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している